

「エネルギー・環境に関する選択肢」に対するパブリックコメント受付係 御中

「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見		
1. 個人/法人等	○ 2. 団体	
2. 氏名	全国消費者団体連絡会	
3. 住所	東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6階	
4. 職業		
5. 年齢		
6. 性別		
7. 連絡先	電話番号	03-5216-6024
	メールアドレス	webmaster@shodanren.gr.jp
意見の概要	「ゼロシナリオ：2030年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする」を支持します。	
意見及びその理由	<p>東京電力福島第一原子力発電所の事故から一年以上が経過した今もなお、多くの人々が全く先の見通しの立たない避難生活を余儀なくされています。</p> <p>そして東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質は、日本はもとより、地球規模で拡散しました。この放射性物質による環境汚染問題に日本は最優先で取り組まなければなりません。</p> <p>原発事故によって、私たちは、子どもたちが思う存分外で泥だらけになって遊び、深呼吸し、水や気候に恵まれた土地で不安を感じることなく農業を営み、安心して近海で漁獲された魚を食べ、湖や川で釣りを楽しむ「原発事故以前のふつうの暮らし」を奪われました。</p> <p>さらに私たちは、放射性物質に汚染された瓦礫の焼却による放射性物質の大気への再放出や、放射性物質が濃縮されてしまう焼却灰や下水処理汚泥の処理についても多大な不安を抱かされています。</p> <p>この狭い地震列島に暮らす私たちは、既存の原発を稼働させず、新規に原発を作らないことで、経済活動の停滞や電力不足による若干の不便が生じたとしても、原発事故の危険と隣り合わせではない暮らしを望みます。そしてこの実り豊かな美しい国土を子供や孫たちに残すのは現世代の責務と考えています。</p> <p>日本政府は一刻も早く、原子力に頼らないエネルギー政策に舵を切り、国民はもとより全世界に向けて「脱原発」を宣言し、脱原発社会構築に至る工程を明らかにしてください。そしてこれからは原子力発電所の廃炉と、大量に溜まっている放射性廃棄物のより安全な処理の研究と人材育成に全力を注いでください。</p> <p>あわせて、原発事故後も継続している「原発（技術）輸出」について見直しを求めます。私たちのたった一つの故郷「地球」に、これ以上原発を増やさず、全世界が脱原発に向かうべく働きかけることこそが、原発事故を起こし甚大な放射性物質汚染を生じさせた国家の果たすべき真の国際貢献であり、唯一の信頼回復の道であることは明白です。</p> <p>私たちは、一日も早く全世界に向けて「原発からの脱却」を訴える国の住人になることを望みます。</p>	